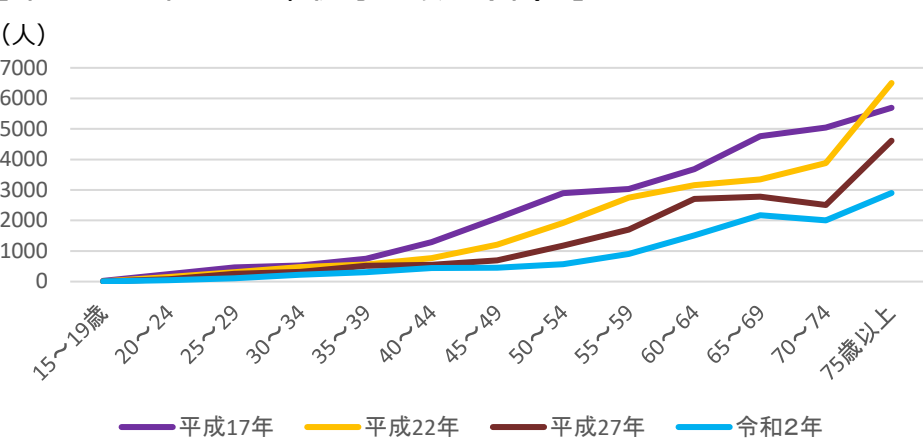


9. 茶産地の現状①

- 年齢別基幹的農業従事者数は年々減少するとともに、平成12年には51%であった65歳以上の割合が、令和2年には61%と高齡化が進展。
- 機械化が困難である傾斜地では面積当たり労働時間が平坦地と比較して長く、特に摘採時期の労働負荷が大きい。早生、晩生の品種導入により摘採期の分散を図る地域も見られる。

【年齢別基幹的農業従事者数（茶）】



資料：農林水産省「農林業センサス」（組替集計）

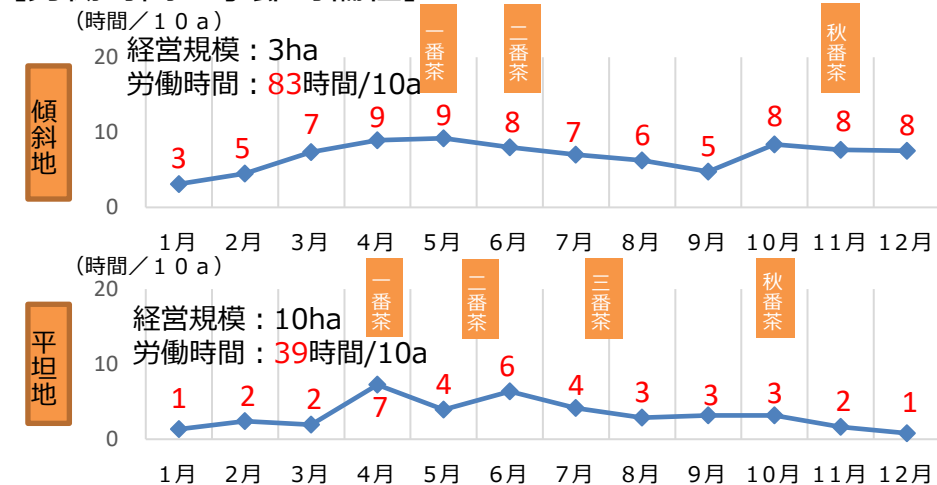
注：工芸農作物の「単一経営経営体」のうち販売目的の茶を栽培する年齢階層別基幹的農業従事者数をグラフ化。

【主産県における販売目的の栽培経営体数（農家数）の推移】（経営体、戸）

	静岡	鹿児島	三重	京都	福岡	宮崎	熊本	全国
H12	24,019	4,309	4,598	1,330	2,217	820	1,277	53,687
H17	17,731	3,072	2,294	1,035	1,629	642	973	37,617
H22	13,933	2,216	1,455	825	1,385	513	695	28,116
H27	9,504	1,599	941	631	962	373	512	19,603
R2	5,712	1,081	569	473	631	297	329	12,325

資料：農林水産省「農林業センサス」（H27以前は販売農家数、R2は個人経営体数）

【労働時間の季節的偏在】



【産地別の品種構成（%）】

	鹿児島	静岡	京都	全国
ゆたかみどり（早生）	26	0	...	7
さえみどり（早生）	16	1	1	6
さやまかおり（やや早生）	2	2	1	2
やぶきた（中生）	29	88	53	64
さみどり（中生）	...	0	9	1
おくみどり（晩生）	5	1	12	4
その他	22	8	24	16

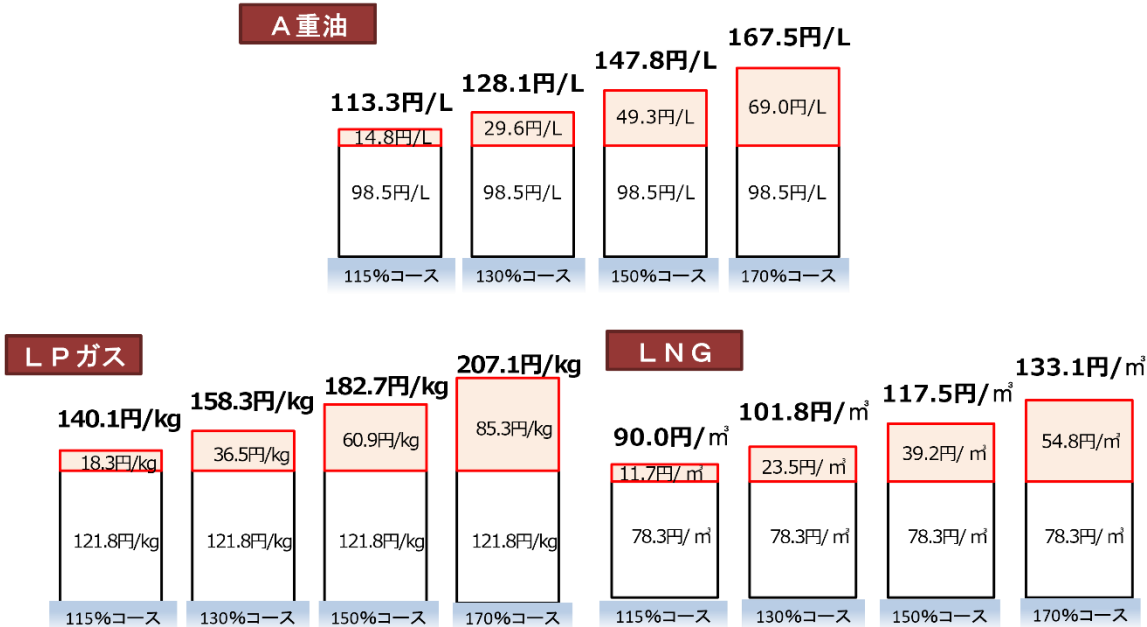
農林水産省調べ（令和6年度）

10. 茶産地の現状②

- 経営費に占める燃料費の割合の高い茶において、**計画的に省エネルギー化等に取り組む産地を対象に、農業者と国で基金を設け、燃料価格が一定の基準を超えた場合に補填金を交付するセーフティネット対策を実施。**
- 令和6年度補正予算において基金への積み増しを実施。

茶セーフティネット構築事業

- ① 支援対象者は、セーフティネットの積立水準と燃料購入数量を設定し、補填積立金を納入(国と生産者が1:1で積立)
- ② 省エネルギー等対策推進計画の目標達成に向けて取組を実施し、燃料価格が一定価格(令和7年度はA重油98.5円/L、LPガス121.8円/kg、LNG78.3円/m³)を超えた場合に補填金を交付。
- ③ 燃料価格が一定基準を超えた場合、補填対象数量を当月購入数量の70%から100%へ引き上げ(急騰特例)。基準価格は、A重油126.0円/L、LPガス158.1円/kg、LNG119.0円/m³



補填積立金 = 積立単価 × 燃料購入予定数量 × 1/2

(参考) 加入状況

燃油契約数量 (kL) ※1	
令和6年	令和7年
64,242	60,889

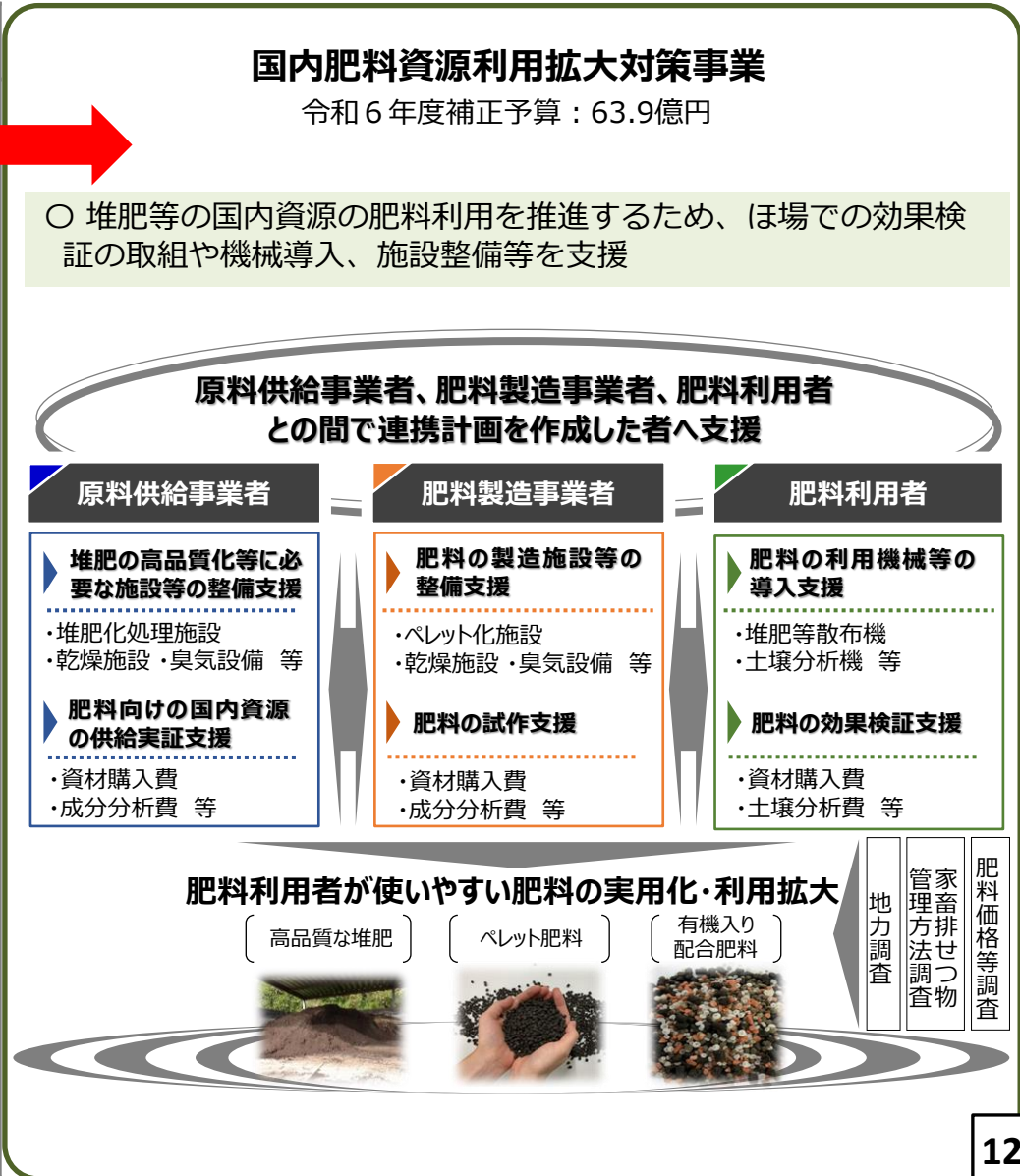
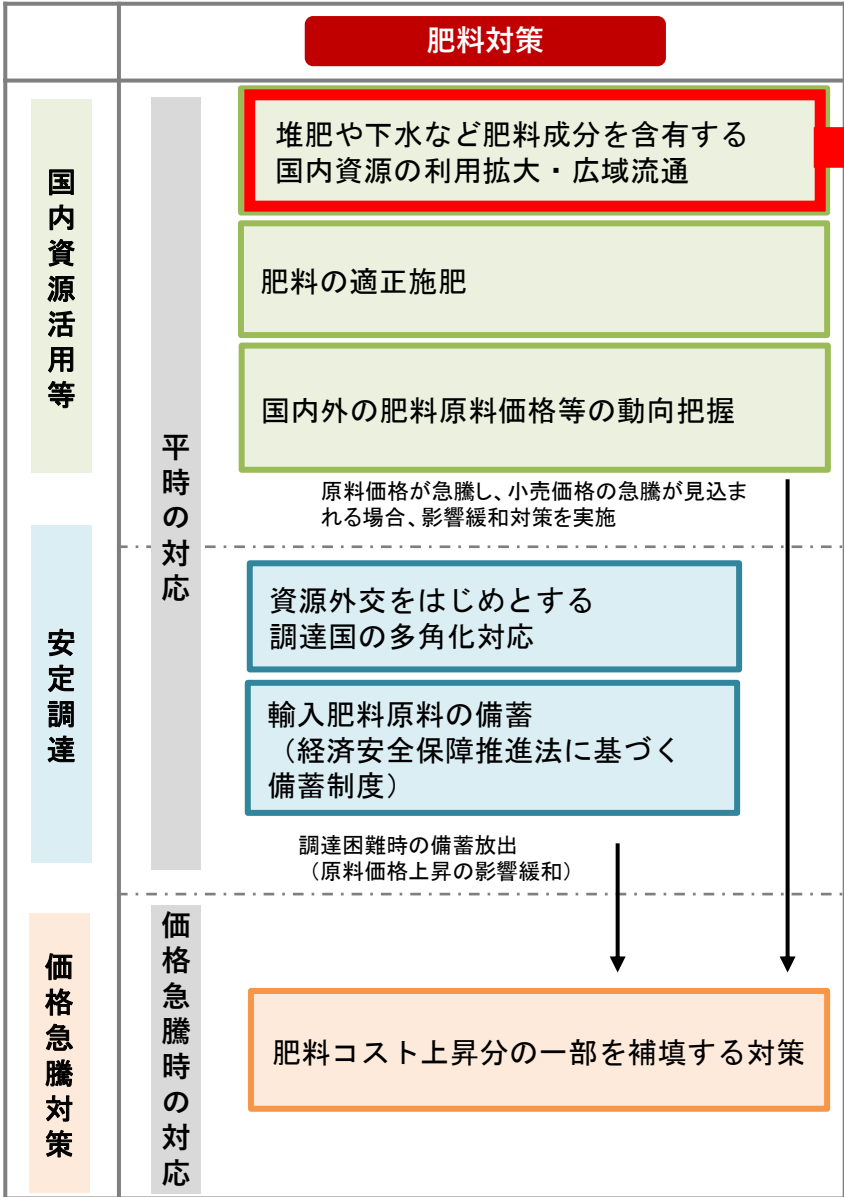
燃油契約数量 (%) ※2	
令和6年	令和7年
87	82

- ※1 契約数量のうち、令和6年の数値は購入数量の実績値。令和7年の数値は計画に基づく数値。
- ※2 加入割合は、令和6年産の荒茶生産量に対する割合で計算。(荒茶1kg当たりA重油を1L使用すると仮定して計算)

資料：農林水産省調べ
(令和6年実績値、令和7年計画値)

11. 茶産地の現状③

○ 令和3年の肥料原料の輸入の停滞や輸入価格の上昇を受け、国内資源の活用、原料の安定調達、価格急騰対策の観点から**肥料対策を構築**。



12. 茶産地の現状④

- 全国の茶園の約 4 割が中山間地に位置している。また、乗用型機械は約 7 割であるが、傾斜などの要因から導入が遅れている地域もみられる。
- 茶園の約 4 割が、樹齢30年以上と老園化し、収量、品質の低下が懸念。改植等への支援の実施面積は全体の約 2 割。

【農業地域別茶栽培面積の動向（令和 2 年度）】

		R2(ha)	急傾斜の割合
全国	平坦地	13,703	
	中山間地	10,974	
	中山間地割合(%)	44.5	
静岡	平坦地	6,306	傾斜度15度以上の茶畑は中山間地のうち5割*であり、乗用機械の導入が困難 *平成6年時点
	中山間地	2,602	
	中山間地割合(%)	29.2	
鹿児島	平坦地	3,813	中山間地においても傾斜度は小さく、基盤整備が進んでいるため、ほとんどの地域で乗用型機械の利用が可能
	中山間地	3,198	
	中山間地割合(%)	45.6	
京都	平坦地	151	傾斜度15度以上の茶畑は全体の15%* *令和 4 年時点
	中山間地	863	
	中山間地割合(%)	85.1	

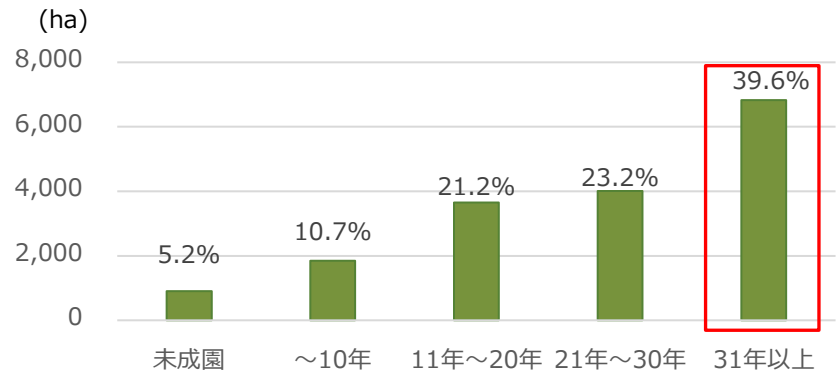
資料：農林業センサス及び農林水産省調べ

【乗用型摘採機の導入状況（令和 6 年度）】

	台数	導入面積ha	導入割合%
静岡県	1,339	7,999	98.1
鹿児島県	3,734	11,202	87.5
京都府	123	321	21.4
全国計	6,804	24,625	70.2

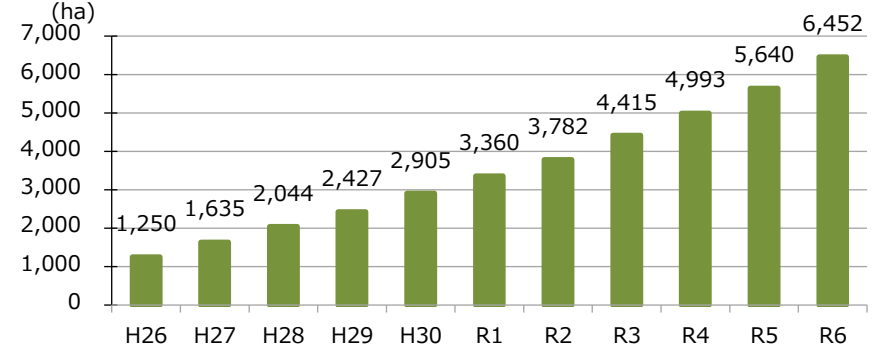
資料：農林水産省調べ

【樹齢別の茶園面積（令和 6 年度）】



資料：農林水産省調べ

【茶改植等支援事業実施累計面積】



資料：農林水産省調べ

改植では、

- ・ 茶園の若返りによる品質・生産力の向上が期待。
- ・ 優良品種の作付けによって、付加価値向上。
- ・ 品種の組み合わせにより、作期を分散させ、収穫・加工作業の集中化を回避。